

## 【10月4日A会場】

9:20~9:30 開会式

09:30~10:20 一般演題 1: 急性期治療

座長: 岡田 清吾(山口大学小児科)

座長: 益田 博司 (国立成育医療研究センター 総合診療部)

O1-1 「近年の IVIG 不応低リスク患者における追加治療例の実態」

演者: 藤田 秀樹(加古川中央市民病院 小児循環器内科)

O1-2 「川崎病急性期の大量免疫グロブリン療法におけるアスピリン併用の再検討」

演者: 津田 悦子(国立循環器病研究センター)

O1-3 「初期併用療法をしない川崎病治療プロトコルの評価:さらなる効果を求めるための改善点」

演者: 古野 憲司(日本赤十字社福岡赤十字病院 小児科)

O1-4 「シクロスポリン初期併用療法の現状と課題」

演者: 末永 智浩(和歌山県立医科大学 小児科)

O1-5 「2nd line 治療としてのインフリキシマブの有効性について -PEACOCK サブ解析-」

演者: 小山 裕太郎(東京都立小児総合医療センター 循環器科)

10:30~12:00 シンポジウム 1: 今後の川崎病急性期治療: IVIG 代替療法の可能性

座長: 森 雅亮(東京医科歯科大学 生涯免疫医療実装講座)

座長: 高月 晋一(東邦大学医療センター大森病院)

「Keynote Lecture」

S1-1 「本邦における血管炎に対する生物学的製剤の現況と川崎病治療への期待」

演者: 森 雅亮(東京医科歯科大学 生涯免疫難病医療実装講座)

「指定演題」

S1-2 「IVIG 治療代替療法としてのステロイドパルス療法」

演者: 佐藤 光央(東邦大学医療センター大森病院小児科)

S1-3 「静注用人免疫グロブリン製剤不足に応じた当院の治療転換について」

演者: 上田 桃子(岡崎市民病院)

S1-4 「免疫グロブリン製剤不足に対する川崎病治療プロトコル変更の試み」

演者: 大西 佑治(広島市立広島市民病院)

S1-5 「川崎病血管炎に対するインターロイキン-33/ST2 系標的薬の抗炎症効果」

演者: 岡田 清吾(山口大学大学院医学系研究科医学専攻 小児科学講座)

S1-6 「川崎病モデルマウスに対する IL-1 阻害薬製剤の効果の比較」

演者: 橋本 佳亮(日本医科大学 小児科)

S1-7 「川崎病の主要症状と検査所見に基づくクラスタリング解析」

演者: 赤星 祥伍(東京都立小児総合医療センター 臨床研究支援センター)

13:10~14:00 会長要望演題 1: 治療前に冠動脈病変がすでにある症例の治療

座長: 池田 和幸(京都府立医科大学小児科)

座長: 小林 徹(国立成育医療研究センターデータサイエンス部門)

K1-1 「治療前に冠動脈病変を認めたが標準治療に追加治療を併用することで良好な経過をたどった乳児川崎病の1例」

演者: 笹本 武明(東京医科大学病院小児科・思春期科)

K1-2 「川崎病診断早期に冠動脈拡張を認め発症1か月時に残存した冠動脈瘤の経過」

演者：佐藤 法子(埼玉県立小児医療センター 感染免疫・アレルギー科)

K1-3「血漿交換が効果なく、インフリキシマブ投与を行った乳児川崎病の一例」

演者：江崎 大起(大分県立病院 小児科)

K1-4「血漿交換後の後治療の重要性を認識した川崎病冠動脈瘤症例」

演者：奥主 健太郎(千葉大学医学部附属病院小児科)

K1-5「治療前に冠動脈病変がすでにある症例の治療反応性と冠動脈予後」

演者：池田 和幸(京都府立医科大学大学院小児科学)

#### 14：10~15：40 シンポジウム 2： PCI vs. CABG

座長：三角 和雄(医療法人徳洲会 千葉西総合病院 心臓センター 循環器内科)

座長：丸山 雄二(日本医科大学付属病院 心臓血管外科)

##### 「Keynote Lecture」

S2-1「25 年間以上の川崎病冠動脈疾患に対する PCI 経験と最先端 device について」

演者：三角 和雄(医療法人徳洲会 千葉西総合病院 心臓センター 循環器内科)

##### 「Keynote Lecture」

S2-2「川崎病若年成人に対する冠動脈バイパス術の長期成績」

演者：丸山 雄二(日本医科大学付属病院 心臓血管外科)

##### 「指定演題」

S2-3「川崎病冠動脈病変を合併した成人安定冠動脈疾患に対する経皮的冠動脈インターベンション後に仮性動脈瘤を生じた一例」

演者：時田 祐吉(日本医科大学付属病院 循環器内科)

##### 「指定演題」

S2-4「就学以前に川崎病後冠動脈障害に対して CABG を施行された症例の予後」

演者：渡邊 誠(日本医科大学付属病院 小児科)

S2-5「幼児期に川崎病による高度な冠動脈狭窄に対して POBA を施行し、遠隔期に新規動脈瘤を認めた 1 症例」

演者：松井 亮介(日本医科大学 小児科)

S2-6「川崎病罹患 3 年で局所狭窄が進行し冠動脈バイパス術を施行し 1 年で出口が閉塞した巨大冠動脈瘤の幼児例」

演者：東谷 佳祐(北海道立子ども総合医療・療育センター 小児循環器内科)

#### 15:50~16:40 会長要望演題 2：治療に難渋した症例（急性期、遠隔期）

座長： 須田 憲治(久留米大学医学部小児科)

座長： 津田 悦子(国立循環器病研究センター 小児循環器内科)

K2-1「初回免疫グロブリン療法で速やかに解熱したにも関わらず中等度以上の冠動脈瘤を合併した 2 例」

演者：大津 生利衣(久留米大学医学部小児科学講座)

K2-2「当院における重症川崎病患者に対するシクロスポリン A 服用時の工夫について」

演者：安井 祐人(川崎医科大学付属病院 小児科学)

K2-3「当院における外科的介入を要する急性腹症を合併した川崎病の検討」

演者：櫻井 亮佑(獨協医科大学 医学部 小児科学)

K2-4 左前下行枝 (LAD) の巨大瘤の血栓閉塞に対する冠動脈バイパス術後に、瘤内血栓が溶解し LAD の順行性血流が回復した症例」

演者：泉田 健介(日本医科大学付属病院 小児科教室)

K2-5「川崎病既往患者の 50 歳前後での冠動脈バイパス手術の背景と特徴」

演者：津田 悦子(国立循環器病研究センター 小児循環器内科)

16:50~17:55 会長要望演題 3：心筋虚血の評価、冠動脈末梢循環障害の評価

座長：時田 祐吉(日本医科大学付属病院 循環器内科)

座長：渡邊 誠(日本医科大学付属病院 小児科)

「Keynote Lecture」

K3-1 「INOCA とは」

演者：時田 祐吉(日本医科大学付属病院 循環器内科)

K3-2 「ischemia with non-obstructive coronary artery disease (INOCA) を発症した川崎病既往例」

演者：元永 貴大(山口大学大学院医学系研究科医学専攻 小児科学講座)

K3-3 「遠隔期川崎病後冠動脈障害に対する<sup>13</sup>N アンモニア PET 検査での末梢冠循環障害の評価」

演者：嶋田 香苗(日本医科大学 小児科)

K3-4 「川崎病による右冠動脈閉塞患者における<sup>13</sup>N-Ammonia Myocardial Perfusion Positron Emission Tomography による冠循環の評価」

演者：鈴木 伸子(日本医科大学 小児科)

K3-5 「<sup>13</sup>N-アンモニア PET による心筋血流定量を考慮した川崎病後冠動脈病変の血行動態の検討」

演者：渡邊 誠(日本医科大学 小児科)

【10月4日B会場】

10：00~10：50 一般演題 2：病理・病態・基礎医学

座長：尾内 善広(千葉大学大学院医学研究院 公衆衛生学)

座長：廣野 恵一(富山大学附属病院小児科)

O2-1 「川崎病モデルマウス心臓由来細胞のシングルセル解析と AI 薬効予測による創薬基盤研究」

演者：平井 健太(岡山大学病院 小児科)

O2-2 「CAWS 血管炎マウスモデルの初期病変についての病理組織学的検討」

演者：浅川 奈々絵(東邦大学医療センター大橋病院病理病理診断科)

O2-3 「川崎病患者における、補体成分 C5a と好中球の活性化に関する検討」

演者：村瀬 絢子(横浜市立大学医学研究科 発生成育小児医療学)

O2-4 「LCWE 誘導性冠動脈炎モデルにおける抗 HMGB-1 抗体投与の治療効果」

演者：上野 健太郎(鹿児島大学病院 小児科)

O2-5 「マウス冠動脈炎・狭窄モデルに対するアンギオテンシン受容体拮抗薬の有効性」

演者：菅沼 栄介(埼玉県立小児医療センター 感染免疫アレルギー科)

11：00~11：50 一般演題 3-1：症例報告

座長：菅沼 栄介(埼玉県立小児医療センター)

座長：上野 健太郎(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野)

O3-1-1 「急性汎発性発疹性膿疱症(AGEP)に引き続き川崎病を発症した3歳男児」

演者：古田 貴士(山口県済生会下関総合病院小児科)

O3-1-2 「川崎病と類似疾患の鑑別を試みた5例の検討」

演者：齋藤 和由(藤田医科大学 医学部 小児科)

O3-1-3 「冠動脈病変を有する川崎病遠隔期症例における酸化ストレスの検討」

演者：益海 英樹(近畿大学病院 医学部 小児科)

O3-1-4 「冠動脈の水素ガス吸入治療 川崎病マウスモデルの病変」

演者：郭 和昌(高雄長庚醫院川崎症中心)

O3-1-5 「外来における川崎病患者に対する教育的関わりの実態と小児科医が抱くニーズ —SMILE@KD プロジェクト Web アンケート調査報告—」

演者：小林 しのぶ(国立成育医療研究センター 社会医学研究部)

12:10~13:00 ランチョンセミナー1

座長：松原 知代(獨協医科大学埼玉医療センター 小児科)  
共催：武田薬品工業株式会社

LS1「冠動脈病変に応じた川崎病急性期治療」

演者：濱田 洋通(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

13:30~14:20 一般演題4：疫学

座長：北野 尚美 (和歌山県立医科大学医学部 公衆衛生学(健康管理センター) 教室)  
座長：末永 智浩 (和歌山県立医科大学小児科)

O4-1「川崎病疫学調査 2023-24」

演者：阿江 竜介(自治医科大学 地域医療学センター 公衆衛生学部門)

O4-2「全国調査を用いた川崎病における直近の抗菌薬投与と冠動脈合併症の関連」

演者：安齋 豪人(国立成育医療研究センター 総合診療科)

O4-3「米国での先行研究に基づいた当科における川崎病患者に関する臨床的特徴についての検討」

演者：石川 純大(鶴岡市立荘内病院 小児科)

O4-4「川崎病パンデミック 203X」

演者：長尾 吉郎(福岡徳洲会病院小児科新生児科)

O4-5「川崎病(KD)の東京都定点の24年22週までの報告数は過去最大の罹患数の18年より2人多い92人であったが今後の動向は？」

演者：粟屋 昭(皮膚科学疫学研究所)

16:30~17:30 一般演題5：遠隔期治療・管理

座長：麻生 健太郎(聖マリアンナ医科大学小児科)

座長：脇 研自(公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院小児科)

O5-1「遠隔期に巨大冠動脈瘤の再拡大を呈した2症例」

演者：小竹 由(久留米大学医学部小児科学教室)

O5-2「川崎病遠隔期に発症した冠動脈狭窄および閉塞病変の検討」

演者：荻野 佳代(倉敷中央病院 小児科)

O5-3「川崎病冠動脈病変に対する冠動脈バイパス術後遠隔期に頻発する心室期外収縮と左室収縮能低下を認めた一例」

演者：内山 沙央里(日本医科大学付属病院 循環器内科)

O5-4「冠動脈病変合併川崎病患者の成人以降のフォローアップの現状」

演者：田中 惇史(JCHO九州病院 小児科)

O5-5「川崎病による左主幹部閉塞患者の臨床経過と予後」

演者：津田 悦子(国立循環器病研究センター 小児循環器内科)

## 【10月4日C会場】

12:10~13:00 ランチョンセミナー2

座長：伊藤 秀一(横浜市立大学大学院医学研究科 発生成育小児医療学)  
共催：田辺三菱製薬株式会社

LS2「川崎病急性期治療におけるインフリキシマブ療法」

演者：河邊 慎司(あいち小児保健医療総合センター 感染免疫科)

## 【10月5日A会場】

### 9:20~10:50 シンポジウム3: 病因論

座長：伊藤 秀一(横浜市立大学大学院医学研究科 発生成育小児医療学)

座長：松原 知代 (獨協医科大学埼玉医療センター小児科)

#### 「Keynote Lecture」

S3-1 「川崎病の原因論 疫学研究の観点から」

演者：伊藤 秀一(横浜市立大学大学院医学研究科 発生成育小児医療学)

#### 「Keynote Lecture」

S3-2 「The Etiologies of Kawasaki disease.」

演者：Moshe Arditi (Cedars-Sinai Medical Center, Los Angeles, California, USA)

S3-3 「疫学データから導かれる川崎病の原因仮説」

演者：弘野 正司(公立くい診療所)

S3-4 「トルクテノ・ウィルスのウィルス量が、川崎病の佐野スコアや総ビリルビン量に相関する」

演者：長尾 吉郎(福岡徳洲会病院)

S3-5 「妊娠中の母親の葉酸血中濃度と乳児期の川崎病発症との関連：エコチル調査より」

演者：福田 清香(横浜市立大学大学院医学研究科 発生成育小児医療学)

S3-6 「母体血中重金属濃度と川崎病との関連性：エコチル調査」

演者：矢内 貴憲(京都大学大学院医学研究科 薬剤疫学分野)

### 11:00~12:00 特別海外公演

座長：深澤 隆治 (医療法人社団福寿会 福寿会病院 小児科)

座長：阿部 正徳(日本医科大学小児科)

共催：川崎病研究センター

SL 「The central role of Interleukin-1 signaling in the Pathogenesis of Kawasaki disease: Path to Translation」

演者：Moshe Arditi (Cedars-Sinai Medical Center, Los Angeles, California, USA)

### 13:10~14:10 会員集会・川崎賞授賞式及び記念講演

### 15:00~15:50 一般演題3-2: 症例報告

座長： 関 満(自治医科大学 小児科)

座長： 沼野 藤人(新潟大学医歯学総合病院 小児科)

O3-2-1 「難治川崎病様症状を呈した NLRP12 関連自己炎症性疾患患者の免疫学的特徴」

演者：大賀 慎也(九州大学病院小児科)

O3-2-2 「免疫グロブリン療法後の亜急性期に大量胸水を生じた川崎病の一例」

演者：大塚 優治(加古川中央市民病院 小児科)

O3-2-3 「初発症状が眼窩周囲蜂窩織炎であった川崎病」

演者：佐藤 法子(埼玉県立小児医療センター 感染免疫・アレルギー科)

O3-2-4 「川崎病の診断に先行して可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎を発症した1例」

演者：山之内 寛和(福岡市立こども病院 小児神経科)

O3-2-5 「川崎病を契機に高血圧を指摘され、後に弾性線維性仮性黄色腫の診断に至った9歳女児例」

演者：高瀬 隆太(久留米大学医学部小児科学教室)

### 16:00~17:50 シンポジウム4: 遠隔期の問題: 動脈硬化、ACS

座長： 横井 宏佳(福岡山王病院)

座長： 高橋 啓(東邦大学医療センター大橋病院病理診断科)

「Keynote Lecture」

S4-1 「川崎病冠動脈後遺症に対する冠動脈インターベンション(PCI)」

演者：横井 宏佳(福岡山王病院)

「Keynote Lecture」

S4-2 「川崎病遠隔期における冠動脈病変の病理」

演者：高橋 啓(東邦大学医療センター大橋病院病理診断科)

「Keynote Lecture」

S4-3 「重症冠後遺症の入院治療を行った川崎病既往成人例の日本の実態：JROAD-DPC 解析研究を中心に」

演者：三谷 義英(三重大学医学部附属病院周産母子センター)

「Keynote Lecture」

S4-4 「DOACs in patients with giant coronary artery aneurysms after Kawasaki disease」

演者：Kirsten B. Dummer (Clinical Professor, UCSD Pediatrics, Division of Pediatric Cardiology, Rady Children's Hospital San Diego)

S4-5 「スタチンは川崎病モデルマウスにおいて冠動脈狭窄抑制効果を認める」

演者：泉ニ 佑輔(北里大学医学部心臓血管外科)

S4-6 「成人川崎病フォローにおける動脈硬化進展予防としてのスタチン治療」

演者：寺井 勝(千葉市立海浜病院 小児科)

17：50~18：00 閉会式・表彰式・次期会長挨拶

次期会長挨拶：

## 【10月5日B会場】

9：00~10：00 一般演題6：検査・診断

座長：吉兼 由佳子 (福岡大学 医学部 小児科)

座長：加藤 太一(名古屋大学大学院医学系研究科成長発達医学)

O6-1 「川崎病難治例を予測するバイオマーカーの開発 ～予測診断キット作成に向けて～」

演者：吉兼 由佳子(福岡大学 医学部 小児科)

O6-2 「SARS-CoV-2 陽性川崎病と MIS-C の鑑別—J-MKC レジストリを用いたスコアリング作成の試み—」

演者：松原 大輔(自治医科大学小児科)

O6-3 「川崎病急性期に冠動脈 Z-score を用いて冠動脈病変発症を予測する：多施設共同後方視的研究」

演者：鈴木 崇之(和歌山県立医科大学 小児科)

O6-4 「川崎病遠隔期病変における Vasa vasorum と内膜肥厚の関連」

演者：垣本 信幸(和歌山県立医科大学 小児科)

O6-5 「川崎病巨大冠動脈瘤症例の心臓 MRI 検査で認められる早期欠損の解釈 ～心臓 MRI 検査と冠動脈造影検査に差異が生じた症例からの考察～」

演者：麻生 健太郎(聖マリアンナ医科大学 小児科)

O6-6 「川崎病急性期における冠動脈エコー輝度亢進の定量化」

演者：岡本 大輝(中東遠総合医療センター小児循環器)

12:10~13:00 ランチョンセミナー3

座長：高橋 啓(東邦大学医療センター大橋病院病理診断科)  
共催：一般社団法人 日本血液製剤機構

LS3「川崎病発見前の川崎病」

演者：渋谷 紀子(総合母子保健センター愛育クリニック)

【10月5日C会場】

12:10~13:00 ランチョンセミナー4

座長：三浦 大 (東京都立小児総合医療センター)  
共催：帝人ファーマ株式会社/KM バイオロジクス株式会社

LS4「川崎病の発症および治療反応性に対する微生物の関与 -ウイルス・細菌から腸内細菌叢まで-」

演者：保科 隆之(福岡市立こども病院 総合診療科/川崎病センター)

16:00~17:30 市民公開講座

共催：川崎病の子供をもつ親の会  
協力：日本川崎病学会

「川崎病と診断されたら」

「急性期における注意点」

演者：阿部 正徳 (日本医科大学小児科)

「遠隔期における注意点」

演者：深澤 隆治 (医療法人社団福寿会 福寿会病院 小児科)

【10月5日D会場】

14:20~15:00 ポスターセッション

座長：家村 素史(聖マリア病院 小児循環器科)

P1-1「川崎病の経過観察中に単冠動脈と診断された症例」

演者：塩野 淳子(茨城県立こども病院 小児循環器科)

P1-2「右冠動脈低形成に冠動脈瘤を合併した男児例」

演者：小野 朱美(徳島県立中央病院 小児科)

P1-3「2nd line 治療後に白血球著増を認めた川崎病2症例における追加治療の検討」

演者：新井 健人(東京医科大学 八王子医療センター 小児科)

P1-4「シクロスポリン持続静注を含めた追加治療に不応であり血漿交換を要した重症川崎病の2例」

演者：新井 隆太(自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター)

P1-5「川崎病主要症状が認識されていたにも関わらず診断に至らず、巨大冠動脈瘤を合併した一例」

演者：新郷 寅吉(日本赤十字社福岡赤十字病院 小児科)

座長：福田 清香(横浜市立大学大学院医学研究科 発生成育小児医療学)

P2-1「入院中に川崎病を発症したが診断に苦慮した1例」

演者：宮田 和也(千葉大学病院 小児科)

P2-2「川崎病の急性期に腎腫大を認めた1例」

演者：竹本 直輝(那覇市立病院 小児科)

P2-3「血漿交換療法中に薬剤性急性尿細管間質性腎炎を合併し、プレドニゾロン投与を要した川崎病乳児例」

演者：下園 翼(鹿児島大学病院)

P2-4「発熱・胸痛・下痢・意識障害を伴い、第12病日に川崎病症状を呈した MIS-C 疑いの7歳男児の一例」

演者：山縣 田(日本医科大学 医学部 小児科)

P2-5 「耳鼻科、内科を経て最終的に川崎病と診断、小児科で加療した 16 歳女性の冠動脈瘤合併症例」

演者：國松 将也(千葉大学医学部附属病院 小児病態学)